

「奥日光は11月でも雪が降る」って本当？

11月でも雪は降ります！何度か本誌でもお伝えしていますが、私たちが言葉でどれだけ伝えても、お客様はなかなかイメージできないようです。「なんだか大げさね」という反応をされてしまうことがしばしば…。嘘じゃないんです、信じてください…。そんな想いで、今回は11月上旬に積雪した時の様子を写真でご説明します。



11月4日 湯元温泉

こちらは2年前の写真。この日の積雪は2cmでした。雪の予報ではなかったのに、出勤したらこの景色。写真からも分かる通り、まだ紅葉が残っています。不思議な光景ですが、これが奥日光なのです…！

2cm前後の積雪は11月に入るとよくあるので、本当に本当に、お気をつけてお越しください！



11月11日 金精道路

たとえ湯元で積雪がなくとも、さらに標高の高い金精峠、その先の群馬県側はこんな状態の可能性もあります。「金精峠を抜けた途端に雪景色だった」というのはよくある話。金精峠へ向かった車がレッカー車で戻ってくるという、なんとも恐ろしいことが毎年ほぼ必ずあります…。

少なくとも金精山が白くなっていたら、ノーマルタイヤで向かうのはやめましょう。

定期購読のご案内

発行日にご自宅まで本誌をお届けします。

「楓通信」購読料 **1,000円**

2022年3月号(No.148)～2023年12月号(No.155)

※本誌は無料。送料、手数料として頂きます。

[申し込み方法]
ビジターセンターで申込書にご記入いただくか、下記まで氏名・住所・電話番号をご連絡ください。

＼アドレスが変わりました／

✉ yumotovc.guide@npfj.or.jp

☎ 0288-62-2461 (FAX: 0288-62-2378)



中禅寺湖北岸から千手ヶ浜へ

今号の特集

<特集1> 奥日光のギモンにお答えします！秋編

<特集2> 華厳溪谷の日の出と『光の道』

『 紅葉の見頃はいつですか？ 』

この質問の仕方だと私たちはちょっと困ってしまいます。奥日光には紅葉の名所がいくつかありますが、気温差があり場所ごとに見頃の時期が異なるからです。

例えば、9月下旬からは戦場ヶ原や小田代原、10月上旬には竜頭ノ滝や湯ノ湖、最後に中禅寺湖やいろは坂…という具合です。奥日光の紅葉の見頃を調べる際は、「奥日光のどの紅葉が見たいのか」を明確にすると良いでしょう。

そんなわけで奥日光の紅葉は、ざっくり言えば9月下旬から11月上旬までの間で、場所を変えながら長く楽しむことができます。

『 11月でも雪が降りますか？ 』

11月でも雪は降ります！今回、本誌の巻末に実際の写真を掲載していますのでご覧ください！

ノーマルタイヤでお越しになった方が、朝起きたらまわりが雪景色に変わっていて帰れない、というのがこの時季に多いです。

少しの積雪でも、ノーマルタイヤは簡単に滑ります。雨の予報だったのに雪になっていた、ということもよくあります。晩秋以降は、少しでも天気が怪しければノーマルタイヤでお越しになるのは控えた方が良いでしょう。

奥日光の、秋の

ギモン

にお答えします！

『 戦場ヶ原の草紅葉は小田代原と同じように色づきますか？ 』

草紅葉というと小田代原のように赤く色づくものを想像するかもしれませんが、同じ草紅葉でも、小田代原は赤、戦場ヶ原は黄金色です。こんがり焼けたトーストのような、香ばしい匂いがしそうな色味が特徴です。

また、小田代原も戦場ヶ原も歩道沿いの木々はカエデ(赤色)よりもミズナラ(黄色)の方が多いので、どちらかというと紅葉よりも黄葉を楽しむイメージです。

『 気温はどのくらいですか？ 』

9月中旬には最低気温が10℃前後、10月に入ると5℃前後になります。また、曇りや風の強い日は体感温度がぐっと下がるので要注意！キャンプを連泊で申し込んだものの、予想以上の寒さに耐えきれず途中でお帰りになる方が毎年いらっしゃるほどです。

それこそ戦場ヶ原を歩く際は服装選びに注意が必要です。風を遮るものが少ないため、強風の日には冬を思わせる寒さです。念のため手袋もお持ちになると安心です。

『 湯元キャンプ場はいつまで営業していますか？ 』

大体、11月頭くらいまでです。湯元周辺は10月下旬から最低気温が氷点下になります。そのため、炊事場の水道が凍結して使えなくなる前にキャンプ場を閉鎖します。その年の気温の推移を見て判断するので、明確な閉鎖の日程は決まっていません。

晩秋にキャンプの際は、こまめにビジターセンターのHPをチェックしてください。また、利用日の朝にも念のためご確認を。急な冷え込みで急遽閉鎖することもあります。何卒ご了承ください…。

華厳溪谷の日の出と『光の道』

華厳溪谷から昇る日の出と、それに伴い湖上に現れる『光の道』。

今回掲載した写真は全て明け方、千手ヶ浜の棧橋周辺から男体山方面を見た景色です。真つすぐに伸びた光の道と、けあらし（湖面から立ちのぼる水蒸気が陸上からの冷たい空気に触れて発生する霧）の組み合わせも見事です。この写真は、二〇二二年十月三日に実施したイベントの際に撮影しました。

光の道が現れたのはこの日の六時前。「日の出の前に千手ヶ浜まで歩いて行くのか」と思うかもしれませんが、安心ください。日の出が見られる期間の土日と祝日に、低公害バスの早朝便が運行します（今年は九月二三日〜十月九日）。早朝便の始発は四時半。五時に千手ヶ浜バス停に到着します。バス停から棧橋付近まで歩く時間や撮影の準備を考えると、可能な限り始発に乗車した方が良いでしょう。余裕があればコーヒーなど暖かい飲み物を淹れておくのも良いですね。早朝の水辺はかなり冷え込みますので、体を温めながら日の出を待ちましょう。

やはりこの日もかなり冷え込んだようで、浜辺に着くと皆さん「寒い、寒い」と急いでダウンジャケットを羽織っていました。薄手の防寒着しか持ってきていなかった方もおり、陽が昇るまではとても寒そうでした。日の出鑑賞の際は冬の防寒着を用意して、少しでも快適に過ごしてくださいね。

*

早朝便のアクセスが可能ということが分かって、「華厳溪谷の真上から陽が昇るのはいつなのか？」という疑問が残ります。そんな時に便利なのが『日の出の入りマップ』。無料で誰でも利用できるインターネットサイトです。

日付を設定して日の出を見る場所にポイントを打つと、左ページ下部の画像のように赤い線が表示されます。このライン上で日の出、日の入りが見られるということ。日付を変えると、日によって線の位置が変わるのが分かるはずですよ。

あとは地形図を良く見て、ご自身の思う景色が見られそうな日をめがけて向かうのみ！ただし、

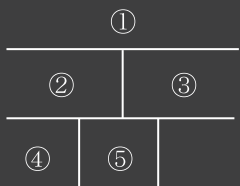
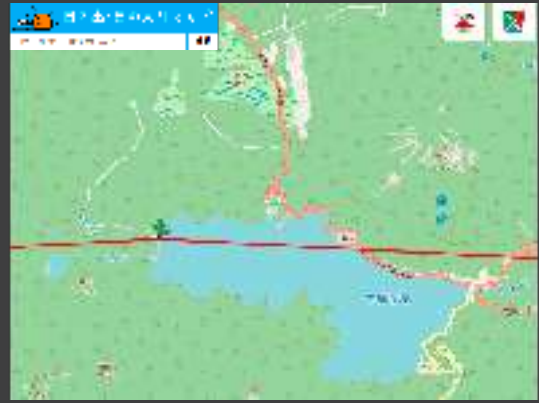
天気の問題もあるため、陽が昇るポイントにこだわるよりも、少しでも晴れの確率が高い日を選んで方が良いかもしれません。現地に着いたらガスや霧で何も見えず…ということもありません。

万が一、日の出が見られなかったとしても、空気の澄んだ早朝の千手ヶ浜の気持ちよさは格別です。まだ人が少なく、波の音と鳥の声しか聞こえない静かな水辺や森を歩くと、普段とは違う特別感が味わえます（クマ対策は忘れずに）。

また、紅葉の進み具合によっては、小田代原の草紅葉と幻想的な日の出の両方を楽しむことができるかもしれません。霧で日の出が見られなくても、小田代原では霧の中の貴婦人と草紅葉のコラボレーションが楽しめることも。

どんな景色が見られるかは当日のお楽しみとして、早朝の奥日光の空気を味わいに、ぜひいらしてください。

※早朝便の時刻の詳細は、日光自然博物館のホームページからご確認ください。



①②日の出と『光の道』 ③お客様に急いで飲み物を配るスタッフ ④陽が昇りきった後も余韻に浸る人々 ⑤日の出日の入りマップ。緑色の矢印が打ったポイント（日の出を見る場所）。

ビビターセンターのイベント

温泉ヶ岳と金精峠～明治の文人たちが辿った道～

9月25日(月)

10:30-16:00(菅沼着)

金精峠から菅沼へ抜けるルートがあるのをご存知ですか？ぱっと見は暗くて怖そうな道ですが、人が少なく静かで、実は穴場のオススメルート！温泉ヶ岳で景色を見たら、明治の文人たちの辿った道へ…。※解散後、集合場所に路線バスで戻ります。
【ルート】金精山登山口 P→金精峠→温泉ヶ岳→金精峠→菅沼

参加費 4,000 円



千手ヶ浜サンライズ & 秘スポットツアー

10月1日(日)

5:15-12:00

今号の特集、千手ヶ浜の日の出を実際にみんなで見に行こう！日の出を見て、ご準備いただいた朝食を食べて、秘スポットへ行きましょう。巨木や湧き水など、一般ルートではない道を探検！平坦な道なので、体力に自信のない方もお気軽にどうぞ！
【ルート】千手ヶ浜バス停→千手ヶ浜→秘スポット(周回)

参加費 4,000 円



探検！「西沢金山」金が見つかるかもしれないツアー

10月30日(月)

9:30-14:30

道なき道をズンズン進む、歴史と冒険のコース。「西沢金山で何？どこ？」という方でも、冒険感を味わえて楽しめるはず！今回は特別講師をお迎えしての特別編(なので参加費少し高めです)！健脚向けではないので、気になる方はお気軽にぜひ。
【ルート】西沢金山跡周回(詳細は後日お送りするイベント要項をご確認ください)

参加費 5,000 円



文明開化期の奥日光への道～アーネスト・サトウの足跡～

11月18日(土)

9:30-15:30

街歩きと道なき道に行くコースが両方味わえる、お得感満載のツアー。「こんな所にこんな物が!？」がいっぱい！かつての冒険家たちが辿った道を歩き、当時に想いを馳せましょう。
【ルート】裏見の滝入口→清滝神社→水沢→午王坂→馬返P(ルートや集合場所の詳細は後日お送りするイベント要項をご確認ください)

参加費 4,000 円



お申込み先(自然公園財団日光支部)

＼アドレスが変わりました！／
✉ yumotovc.guide@npfj.or.jp
☎ 0288-62-2461 (FAX: 0288-62-2378)

お申込みの際、下記をお知らせください。

- ①氏名②令和2年～4年実施イベントの参加有無
- ③性別④年齢⑤住所(郵便番号含む)⑥電話番号
- ⑦当日の交通手段